

「2013年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	2	25%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	4	50%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	0	0%
D	大学院修了という学歴がほしかいから。	2	25%
E	将来に不安を感じたから。	0	0%
F	時間に余裕が出来たから。	0	0%
G	その他	0	0%

3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	4	45%
B	先輩	1	11%
C	学内での説明会	1	11%
D	オープンキャンパス	0	0%
E	大学院パンフレット	2	22%
F	本学ホームページ	1	11%
G	その他	0	0%

4. あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	2	17%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	3	25%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	0	0%
D	課題の発見に関する研究	3	25%
E	課題の解決を目指す研究	3	25%
F	実践的応用に関する研究	1	8%
G	その他	0	0%

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	1 (25%)	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	0 (0%)	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	1 (25%)	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)

5. 今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	1	20%
1～2科目	0	0%
3～5科目	1	20%
6～10科目	1	20%
11科目以上	0	0%
無回答	2	40%

「2013年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	2	67%
B	ない	0	0%
C	科目の履修はしていない	1	33%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
地産M2	経済情報統計解析	実用的な統計解析・分析手法を学べる点

③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	0	0%
B	ない	3	100%
C	科目の履修はしていない	0	0%

6. あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	2	40%
B	満足していない	1	20%
C	どちらでもない	1	20%
	無回答	1	20%

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地産M2	マーケティング分野の講義が少ない。
------	-------------------

③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	3	60%
B	なくてもよい	0	0%
C	どちらでもよい	1	20%
	無回答	1	20%

④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。 回答なし

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	0	0%
B	満足していない	2	40%
C	どちらでもない	1	20%
	無回答	2	40%

②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地産M1	他大学や研究機関へ資料を請求したときの大学院生用の窓口や、資料の受信送信などで自由に使用できるFAXがあると便利です。資料請求で依頼をした先方がスキャナを持っておらずPDF化できなかった場合、メールではなくて「FAXで送信致します」と指定される場合があります。そういった際にいつも困ります。
地産M2	カラーコピー機を導入して欲しい。

「2013年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	1	20%
B	たまに利用している	2	40%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	2	40%

④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地産M1	エアコンの暖房と冷房の切り替えを親機で一括で管理しているため、資料室、PC室なども一緒に連動しています。天気が暖かい日や寒い日が交互に続くと親機の設定も頻繁に変わり、室温も一定ではなくなるのでカビの発生やPCの過熱などにつながると思いますので、部屋ごとに切り離したほうが良いと思います。大学院生のPC室の利用に関してですが、帰宅時にPCのログインや電源を落とさずに帰る人が非常に多いので電気代がもったいないと思います。
地産M2	大学院・大学のスケジュールに不満があります。論文提出数一週間前に、センター試験のため学校へ入れないのは大変困りました。学校にしかないソフト(SPSS)など、使用しなければならないためです。また、論文提出前は、13号館の開館時間を拡大するなどしてほしいと思います。

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	0	0%
B	行っておりません	2	40%
C	過去に経験があります	0	0%
	無回答	3	60%

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。 該当なし

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。 該当なし

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	2	40%
B	してみたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	3	60%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地産M1	先生のサポートをすることで、講義に関わり、自分の理解度も深めることができそうだから。
地産M2	勉強になりそうだから。

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	2	40%
B	知らない	0	0%
C	興味がない	0	0%
	無回答	3	60%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	0	0%
B	たまに利用している	1	20%
C	全く利用していない	1	20%
	無回答	3	60%

「2013年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	1	20%
B	たまに参加している	1	20%
C	全く参加していない	0	0%
	無回答	3	60%

10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

地産M1	学部するとき、大学院進学のため指導教員以外にもOB・OGへ相談をしようと思ったのですが、なかなか気軽にはいける雰囲気ではなかったのもっと大学院が開かれたイメージになったら良いと思います。入学しても、やはり閉鎖的な環境なんだなと感じました。 院生と学部をつなげるために、先生方が行っているオフィスアワーのようなものの院生verがあれば良いなと思いました。学部生が気軽に進路や院生を通してのOB・OGの紹介、卒論の話や相談などができる場所があっても良いのかなと思います。
地産M1	PC室にMacPCを追加してください。なぜか、Windowsが主流のような雰囲気があります。Macの方が、統計やデータを加工するときに便利です。
地産M2	地域産業研究科でも、専門社会調査士の資格取得ができるようにすべき。(他学科の科目認定も必要。) 学外ゼミ費や研究費などがあると良い(既にある場合は、オリエンテーションなどで紹介してほしい) 講義登録期間が短い&他大学の期間とずれていて単位互換の際、不便